



Y's Men International

YMI

WORLD

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

Only for private distribution to members

YMI ワールド
2019-2020 No.3
日本語版



国際書記長から：チャレンジ 22—私たちは前進する／国際ワイズニュース：新たに選出された次期国際執行役員および次期国際議員／
私たちは忘れない「ワイズマンとは何を意味するか」（ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事）／環境：オゾン層の穴を覚えていますか？
／マイクロヒストリー：オーストラリア、中央ビクトリア地域のYMIとYMCA ほぼ100年に亘る地域への奉仕・中央南ヨーロッパ 数々の
挑戦／地域からの報告・アメリカ合衆国：国際会長の太平洋南西区への旋風ツアー その他韓国、香港、インド、日本、カリブ海からの寄
稿／親善訪問 台湾とフィリピンでワイズメンと会う／魂の真言：私にあなたの事情を聞かせてください

読者の皆さまへ



これを書いている今(3月30日)、私たちは人類にとってこれまで経験していなかった危機に襲われています。新型コロナウイルスの脅威は、世界中で35,000人以上の死者をもたらしています。有識者たちは、この脅威は、さらに大きくなっていくだろうと言っています。

新型コロナウイルスの蔓延は、地球上のすべての地に広がりました。世界中の約30億近くの人々が多くは、自ら隔離、封鎖あるいは孤立の状態にあることを課せられています。恐怖とパニック、痛みと苦しみそして疑いと誤報に満ちています。

このパンデミックに対しての私たちの対応は、最良のものも最悪のものもあります。ある者は、警告を全く無視して他人を危険に晒していますが、大多数の者は、警告に従い、医療関係者の指示に則って望ましい行動をとっています。私たちは、責任ある市民として、問題を起すのではなく、解決に向けての一員となるべきです。

当局がウイルスの伝染を防ぐことに格闘していて、科学者たちがワクチンの開発に取り組んでいる一方、市民の中の「良きサマリア人」は、最も弱く、最も必要としている人々への支援を広げています。今号のYMIワールドでは、香港、韓国、インドでのこのパンデミックへの取り組みを紹介しています。もっと多くの事例がありますが、紙幅の都合で掲載できませんでした。

私たちの国際会長と国際書記長は、新型コロナウイルスの蔓延に関して、全てのクラブ会長にメッセージを発信しています。それらは国際協会ウェブサイトで見ることができます(<https://www.ysmen.org.covid-19>)。どうぞご覧いただき、クラブやクラブメンバーに広めてください。

この異例の日々に、皆さまとご家族が安全で健康であることを願います。私たちの思いと祈りは、皆さまとクラブメンバーとともにあります。

今号の要となる記事は、ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事による「ワイズマンになることは何を意味するか」です。全てのメンバー、新しいメンバーにも旧いメンバーも、ぜひ読まれ

ることをお褒めいたします。これは、新入会員の入会式、新役員の就任式のためにも良い文書です。

「マイクロヒストリー」のコーナーでは、元編集長のワリーがヨーロッパ中央南区について、次期クラブ会長のロブ・グリーンがオーストラリアの中央ビクトリア地方、特にベンディゴについて書いてくれました。国際書記長の手紙では、私たちの運動を100か国に広げようとするための行軍の概要を伝えてくれます。この努力は、パンデミックの勃発によって一時止まっていますが、事態が平常に戻ったら元気を取り戻しましょう。

今号ではまた、個人的な思い出も採り上げています。台湾とフィリピンのワイズを訪問したときの感動の様子そして国境を超えた友情を育むという旅の目的を達成したことを、あるクラブメンバーが寄稿してくれました。将来、このような記事がたくさん寄せられることを願っています。

古い諺にあるように「悪いこともいつかは過ぎ去るもの」です。そして「We shall overcome(勝利を我らに)」を歌いつつ希望を持ちましょう。どうぞ安全に。

ワイズリー

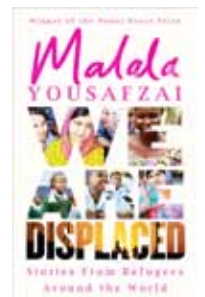
コシー・マッシュ

私の本棚から

「難民となって」 マララ・ユスフザイ

「難民となって」でマコラは、私たちを、彼女と家族が、その地域を占領していたタリバンと陸軍との戦闘のため、パキスタンのスワト渓谷の自分の家から急いで逃げた時へ連れて行きます。マララ・ユスフザイは、家を、コミュニティーをそして唯一知っていた世界を失うということを意味する国内避難民としての彼女自身の話から始めます。彼女は、また、難民キャンプや難民の女の子たちとその家族が住む街への様々な旅で出会った何人かの女の子の個人的な話を紹介しています。

移民危機、戦争、国境紛争の時代にあって、「難民となって」は、全ての人々が持つに値する普遍的な権利と家を取り上げられたことを経験した世界で最も有名なひとりからの問題提起です。



表紙: 台湾区のワイズメンたちが YMCA ハピネスデーの蚤の市に参加

ワイズメンインターショナル公式誌

国際本部: Ave Sainte-Clotilde 9, CH-1205 スイス

国際編集長: コシー・マッシュ

日本語版翻訳グループ: 田中博之(委員長、東京多摩みなみ)、

青木一芳(千葉)、今城高之(横浜つづき)、利根川恵子(川越)、

太田勝人(東京町田スマイリング)、比奈地康晴(東京)、

倉田正昭(京都)、田尻忠邦(大阪)、谷川寛(大阪センテナリアル)、

谷本秀康(東広島)、中井信一(奈良)

印刷: (株)三浦印刷所 三浦克文(岡山)

ニュース、意見を歓迎します!

リーダーの皆さんは、クラブ、部、区での活動の話を、1枚以上の高解像度の写真と適切な短い説明文を付けて国際本部にお送りください。記事は、150語(英語)以内でお願いします。読者の皆さんもグローバルな私たちの運動に関する関心事について、ご意見や原稿をお寄せ下さい。

記事と写真をwww.ysmen.org/yimiworldにお送り下さい。

次号掲載記事の提出締切日: 2020年5月31日

チャレンジ 22—私たちは前進する



私たちのワイズメン運動は、未来に向けての統一された活動、興奮と刺激に満ちた機会、そして膨らむ希望の時を目の当たりにしています。チャレンジ 22、すなわち私たちの 100 周年の諸目標を達成するための行動計画が 19 年の国際議会で採決され、私たちに 7 つ

の共通の課題が定められました。その 7 つの課題とは、① 会員、関係者間に運動に関する積極的認識を創り出すこと、② 自己認識と見える化を図ること、③ 私たちの持つ遺産を基に求心力を強めること、④ YMCA との協力関係を全レベルで進めること、⑤ ワイズの存在する国の数を 100 に増加すること、⑥ 新クラブ設立によりワイズの奉仕活動を 3,000 の地域社会に展開すること、そして⑦ クラブ会員数を 50,000 名に増強することです。

チャレンジ 22 の実行に注がれたこの 6 か月間の努力を振り返りますと、ワイズのメンバー間に、将来に対しより楽観的になれそうだという、進歩の兆候が見られます。国際本部から、私たちワイズとは何者か、世界中で何を行っているか定期的にメール、ウェブサイト、フェイスブックで発信されていて、私たちの運動への肯定的な認識を築く助けになっています。多様な世界における地球大の存在として、ワイズは、国際レベルの共通方策に総意を持って同意し、誇りをもって賛同できるブランドの樹立のための手順を生み出すことができました。それらに従って、メンバーや全レベルの役員のための研修手法を再開発している最中です。

私たちの歴史的遺産を守り育てる努力として、ワイズ誕生の地トレドにて遺産プロジェクトを始めました。トレド市ウッドローン墓地内のアレキサンダー判事の遺灰埋葬場所を突き止めて、墓石を設置することができました。もう一つの顕著な成果は、トレドの市営公園を、ワイズメンズクラブ国際協会の名のもとに命名できたことです。

また、私たちの世界規模の集団的指導力を樹立する努力の一つとして、国際 RDE サミットとして、昨年 11 月トレドに世界中の次期理事・次期地域会長を呼び集め、世界のワイズの共通のビジョンと将来の目標を確認しました。ワイズの各レベルでの YMCA との積極的な関わりは、新段階に入っており、そこには世界 YMCA 同盟および 2030 年までにマラリアを終息させるため、英国国際開発省からマッチングファンドを受けたロールバックマラリア事業のための「グローバルファンド」との新しい協力関係も含まれています。アフリカ、カナダ、ノルウェー、ラテンアメリカの YMCA

との新しいパートナーシップが確立されました。YMI はロンドンで、欧州 YMCA が組織した世界 YMCA 175 周年行事を支援し、それを通じ諸国の YMCA 関係者に YMI の存在を印象づけました。YMI はまた、パレスチナのベツレヘムで催された世界 YMCA 同盟の各国 YMCA 同盟総主事研修会を支援し、諸国の YMCA との結束を強める役目を果たしました。これらの努力の結果、新しいワイズメンズクラブがパキスタン、オマーン、ネパール、イタリア、さらにカンボジア、ハイチ、ベトナム、オランダに生まれ、ワイズの存在する国が実に久しぶりに 70 か国に達しました。あと 10 か国にもクラブを設立中ですが、新型コロナウイルスのため足踏みしています。

先般実施した会員増強 100 日間キャンペーンの結果、国際協会に 103 の新クラブが加盟しました。さらに多くの新クラブが、エストニア、インド、日本、モンゴル、ナイジェリア、ノルウェー、フィリピン、韓国、台湾、米国において設立準備中で、これによりあと 1,700 名の新会員が加えられることでしょう。そして、153 名の会員を擁する世界最大のクラブ—韓国のキメ(金海)ヘルパーズクラブも国際協会に加盟しました。史上初めて、以下の 12 のクラブが EBBA(国境超え拡張賞)計画のもとに国際加盟しました。

クラブ	国	スポンサークラブ
カタニア	イタリア	ズヴォレ(オランダ)
クラーク・アーク	フィリピン	京都トップス(日本)
ホウド	モンゴル	キメハンモン(韓国)
カラチ	パキスタン	コロンボ(スリランカ)
カトマンズ	ネパール	トリヴェンドラム(インド)
カトマンズヴァレー	ネパール	チェンマイ(タイ)
ホウド	モンゴル	キメセヴン(韓国)
ルンビニ	ネパール	アイランドイースト(香港)
マスカット	オマーン	ドバイフレンズ(アラブ首長国連邦)
ウランバートルセンター	モンゴル	キメセヴン(韓国)
ウランバートルシティー	モンゴル	キメセヴン(韓国)

私たちは、インドのカッカナドタウンクラブがカナダのエドモントンに立ち上げた新クラブも間もなく歓迎することになっています。

今の種々の困難のときにあっても、私たちはチャレンジ 22 計画によって前進しています。

ジョース・ヴァルギース
国際書記長

新たに選出された次期国際執行役員

次期国際会長キム・サン・チェは、韓国の熱心なワイズ会員であり、ワイズ運動について熟知しています。快活な人柄によって役員やメンバーたちと円滑に意思疎通しています。彼は、成功した医師で、献身性、決断力、ワイズ運動への忠誠心を発揮することにより、皆を鼓舞する指導者となってきました。韓国のワイズメンである医師たちを率いて、これまでカンボジア（2016）、タジキスタン（2016）、チェンマイ（2017）、ラオス（2018）、モンゴル（2019）への医療奉仕を成功させました。現在は、ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産事業の共同委員長として、大きな実績を挙げています。今回の次期国際会長選挙には、韓国ブ・ウル・ギョン区、韓国チョンブク区、韓国ソウル区、韓国南区、韓国西区から推薦を受けました。キム・サン・チェは、2021-22年度に国際会長を務めます。



次期国際会計 T.M. ジョースは、30年を超えるワイズの経歴を持ち、献身と熱意に溢れた奉仕を続けてきました。インド・ケララ州出身の実業家で、インド地域における熟練したワイズ指導者です。2008-09年度にはインド地域の「ベストワイズマンリーダー」して表彰されました。彼は、ワイズの区、地域で種々の役職を務め、さらに国際議員として、また2012年度から2018年度まで TOF 委員会の委員長として奉仕しました。ワイズ以外の多くの社会組織の役員としても、傑出した指導者ぶりを発揮しています。今回の次期国際会計選挙には、自クラブが所属する西インド区の推薦を受けました。T.M. ジョースは、2021-22年度に国際会計に就任し、3年間の任期を務めます。



新たに選出された国際議員 (ICM)

アジア太平洋：大野勉（西日本区）は、2020年7月1日から2021年6月30日まで国際議員兼次期地域会長を、2021年7月1日から2022年6月30日まで国際議員兼地域会長を務めます。



韓国：パク・スンチュル（テグキョンブク区）は、無投票で選ばれ、2020年7月1日から2021年6月30日まで国際議員兼次期地域会長を、2021年7月1日から2022年6月30日まで国際議員兼地域会長を務めます。



ヨーロッパ：ビョルン・アルヴェ・ベンセン（ノルウェー区）は、無投票で選ばれ、2020年7月1日から2021年6月30日まで国際議員兼次期地域会長を、2021年7月1日から2022年6月30日まで国際議員兼地域会長を務めます。



カナダ / カリブ海諸国：シーハム・ラバ（中央・西カナダ区）は、無投票で選ばれ、2020年7月1日から2022年6月30日まで国際議員（青年会員議員）を務めます。



カナダ / カリブ海諸国：ブライアン・ミニリー（中央・西カナダ区）は、無投票で選ばれ、2020年7月1日から2021年6月30日まで次期国際議員を、2021年7月1日から2023年6月30日まで国際議員を務めます。



米国：シャジュ・サム（北大西洋区）は、無投票で選ばれ、2020年7月1日から2021年6月30日まで次期国際議員兼次期地域会長を、2021年7月1日から2023年6月30日まで国際議員兼地域会長を務めます。



ワイズマンとは何か

ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事

ワイズメンズクラブ国際協会の創設者であるアレキサンダー判事が1930年8月24-28日にペンシルベニア州・ウィルクスバリで開催された第9回国際大会で行ったスピーチの抜粋です。この素晴らしい組織のメンバーとして果たすべき重要な責任について思い起こしていただくために掲載いたします。

リーダーの皆さんは、新メンバーの入会式や新クラブ設立の際にこのスピーチからアイデアを得てください。

編集長

私たちの国際協会が8年前に誕生したアトランティックシティのコンベンションホールに、ふたつの巨大な旗が掲げられていました。ひとつには、「そして、青年たちは幻を見る」という銘が書かれてあり、もうひとつには「幻なき民は亡びる」とありました。このふたつの言葉は、私たちのワイズメン運動という布を織りなす縦糸と横糸になっています。幻をつかみ、ニーズを感じ取り、衝動を感じ、ひらめきを活かす力の無いものは、ワイズメンになる資格がありません。

それは、人材こそ私たちの誇りであるという、ワイズにしか見られない基準を大切にしたいからです。この基準こそ、世界中のワイズメンズクラブが、優れたメンバーの資質として抱いてきたと言われる個人としてのそして団体としての理想主義なのです。新しいメンバーを迎えるために、あるいは古くからのメンバーを引き止めるために、この根本的な必要条件である理想主義をほんの1%でも割引くことは、私たちの運動の心臓部に対する一撃を意味するのです。ワイズマンであることは、その行動が自己犠牲の上に成り立つ理想によって動機づけられている理想主義者であることを意味します。

すべてのワイズマンは、YMCAは、世界中で明日の市民である青少年を大切にす、教会に次いで大きな人格の形成機関であることを知っています。YMCAは、学校や大学に次ぐ大きな教育機関でもあります。YMCAは、体育教育や体の発達において世界をリードする存在です。YMCAは、また、異なる信条、カースト、文化という形で立ちはだかる世界中の壁を打ち倒すことにおいて誰にも引けをとりません。YMCAは、ほとんどあらゆる国において、その働きによって、国と国との間を、民族と民族の間を引き裂く誤解や偏見に反対し、そしてそのために、常に愛国心を決して非難せずと称え、世界平和のための力強い原動力となっています。

ワイズメンの中心的目的は、その目的に関する声明書に示されているとおり、YMCAが提供しているプログラムの全てのフェーズにおいてこれを推進し、個人としての、そして団結した努力によって積極的に、勤勉に奉仕することです。

ワイズマンであることは、YMCAに尽くすことを意味します。

それは、必ずしも時代遅れの神学的教理を受け入れることではありません。YMCAの土台である目的に真摯に共感し、それに献身することであり、それをそれぞれの地でまた、国際的に実現することです。

私たちのエンブレムを構成している3角形の上辺に「インターナショナル」という文字が入っていますが、この文字に、ワイズの友愛がおよぶ範囲とワイズの目的の広さが表されています。

私たちの世界展望委員会(訳注:当時存在した委員会。現在は、IBC、YEEP、STEP、TOF等の事業に引き継がれている)等は、「人はその視野の広さで測られる」という言葉を広めてきました。

ワイズメンが赦すことができないのは、世界の状況や他の国や人々の問題に時間も費やさず、関心も示さない人々です。こういった人々の度量は、余りにも狭く、私たちの運動は、このような幅の狭い、小さな視野の人々の居場所ではありません。ワイズマンは、その視野という基準で測られることを恐れてはなりません。なぜなら…

ワイズマンであることは、世界それ自身と同じ広さの視野を持つことであり、世界を志向することを意味します。

私たちの最も根本をなす理想のひとつは、ワイズのモットーにうたわれているように「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」ということです。このモットーが採用されたのは、私たちはともすれば、特にアメリカの市民は、私たちのさまざまな権利を完全に実行されることを要求する一方、こういった権利の基礎にある義務をないがしろにするという見逃すことができない傾向を持っている故であります。

このモットーについて、例を挙げてごく単純に説明することができます。大通りを運転中、交通信号が緑になっていると、そのまま交差点を走りすぎるすることができます。そこに交差している道を車が横切って衝突する心配がないからです。何故でしょうか。それは、交差する道の側では信号は赤になっていて、そこにさしかかった車は停止し、あなたの側の車に通行権を譲るからです。もし一方の道の信号が緑で、他方の信号が赤でないということが起こるとすれば、それは役に立たないどころではすみません。

それに対応する義務なしに、権利はあり得ません。一方の側での赤信号なくして、他方での緑があり得るとすれば、ものごとくに左側なしに、右側だけがある、裏なくして表だけがあるというようなものです。



私たちは忘れない

ある義務の承認と履行は、皆さんまたは、皆さんの権利を守ってくれます。

人生のさまざまな交差点で、どこに権利があり、どこに義務があるのかを示す交通信号はめったにありません。ある領域においては、特に、社会的、道徳的、民族間、国家間において、多くの権利が叫ばれ、義務があいまいにされているのを見ます。義務があいまいだと、関心は、ほとんど自分の権利にのみ向けられることが常ですが、義務は、それにもかかわらず存在します。私たちのモットーは、権利の実行についてよりも、むしろ義務の確認と履行をもっと考えるように要求しています。私たちがしてもらえらることよりも、私たちがしなければならないことを、私たち自身についてよりも、他の人々のことにもっと目を向けることを要求しています。

ワイズマンであることは、義務は、すべての権利に伴うことを認めることです。

ワイズマンとして、まず果たしやすい義務は、例会に規則的に出席することです。もうひとつは、遅滞なく金銭的な義務を果たすことです。これと同様に、果たしやすい義務は、沢山あります。大会に出席し、それに協力し、それについて報告すること、連絡事項には直ちに返事を出すこと、“Association Men”（訳注:現在の YMI ワールド）を読むこと等々です。

私たちの義務の中で最も重要なのは、クラブのすべての委員会活動および私たちの目的の達成のために企画されたすべての活動に参加することです。現在は、ほとんどすべての大陸の、12 の国における 160 の都市（訳注:2020 年 3 月末現在では、69 ヶ国、1,451 クラブ）で活発な活動を行っているという私たちのクラブの高い水準は、ワイズマンによって成し遂げられた成果、提供された奉仕そして実際に達成された目的がもたらしたものです。私たちの国際委員会（訳注:現在の国際本部 (IHQ)）は、豊富な資料を配布して来ました—これに対しては、クラブに対して余りに多くの示唆を出しすぎ、負担をかけ過ぎだという批判もあります。（しかし、この資料は、私たちにどのような活動の機会があるかを示すためのものでした）。しかし、実際に活動するのは、委員会ではありません。委員会は、方法を示すだけのものです。活動を行うのは、メンバー一人ひとりなのです。

私たちの国際憲法には、メンバーの種類はひとつしかありません。すなわち「活動的なメンバー」だけです。メンバーとは、本当に活動する者という意味です。

古い格言に「始めよければ半ばの成功」というのがあります。何かを始めた者は、「希望的観測」による試みを始めただけで、結果として現実を甘く見たことに終わることが多いようです。何かを始めるは、それほど難しいことではありません。しかし、それを継続し続けるのには、強い覚悟が必要です。時には頑張るといふことなら誰にも出来ます。しかし、計画したとおりの速さを守りながらそれを継続するには、スタミナが必要です。

ワイズマンは、単にスターターではありません。継続者でも

あります。これには熱意が必要です。ワイズマンであるためには、熱意をもって活動する必要があります。

結論的に言うと、ワイズマンであることは、以下を意味します。

- (1) 理想主義者であること
- (2) YMCA に尽くすこと
- (3) 国際志向を持つこと
- (4) 自らの義務を見つけ、自らに課すること
- (5) 熱意をもって行動すること

真に、ワイズマンであるということには特別な意味があります。皆さんは、それがどういうことかおわかりと思います。そしてワイズマンであるということが、なぜ上述のような多くのことを意味するのかの理由もご存じでしょう。

なぜかと言うと、私たちは地域で最も排他的なクラブであるからです。つまり、クラブは、刺激的でやりがいのあるものであり、最も強く最も厳格な理想主義に対する私たちの主張をダイナミックに強調する手段だからです。

私の、ワイズマンすべてに対する願いは、以下のとおりです。私たちの運動の核心、私たちの運動の存在価値は、この排他性、差異性にあります。私たちが、私たちの理想を持たない者、それを受け入れず、発展させない者、夢を追い求める意欲を持たないメンバーを受け入れたり、そういったメンバーをクラブに引き止めたりするために、排他性を捨て、敷居を低くするその瞬間、私たちは、1 滴の猛毒を取り入れることとなります。その猛毒は、力を強め、広がり、浸透し、ついには私たちの全組織に死を意味する麻痺を引き起こします。

今、ここで、私たちは、自らの心を探り、私たちは、メンバーであるという権利をまだ保持しているのかどうか、私たちが個人として、この排除の過程を恐れてはいないかどうかを確かめてみることをお勧めします。各自が、以前自分の中に奮い起こされたあの理想主義を幾分かでも失ってしまったのではないのかどうかを自問してみましょう。私は、YMCA と心を完全にひとつにしているのでしょうか。そうではなくて、私は逆行しているのではないのでしょうか、誠実に状況を修正しようとしているのでしょうか。敢えて自分の視野の広さによる自分自身の測定に身をさらしてみてもはどうでしょうか。他の人の権利がその上に乗っかっている自分の義務を排除する権利を考えたりしてはいないのでしょうか。私は、ワイズマンや働き手の「ナイフとフォーク」になっているのだろうか—私は熱意を持って活動しているのだろうか。

自己犠牲によって表されるこの理想主義に対して、YMCA に対するこの忠誠に対して、この国際志向、この視野の広さに対して、この権利より義務についてのより大きな関心に対して、熱情的な活動をもって、私達のうちにおられる神様と共に、一人ひとりそして全員が、改めて自分自身を捧げようではありませんか。



オゾン層の穴を覚えていますか？

オーストラリア・ベンディゴ Y サービスクラブ・ブリテン編集担当 ピーター・サール

オゾン層は、地表の上空 15 ~ 30 km に存在しています。オゾン(O₃)の「毛布」は、太陽から地表に照射される紫外線のほとんどを遮ってくれます。紫外線は、人体の癌や白内障の原因となりうる他、魚や蟹やカエルの生殖に問題を生じさせます。太陽からの距離や地軸の傾きなどと相まって、オゾン層は、この素晴らしい惑星を可能性や生命力に満ちたものとしてくれる自然現象のひとつと言えます。

オゾン(O₃)は、上空において酸素分子(O₂)に太陽の紫外線が作用して作られる酸素の自由原子(O)が、分解されな

かった酸素分子(O₂)と結合して作られます。また、オゾンは、雷やある種の電気装置*によっても作られます。

(*:1968年頃のディアンヌの「サンビーム・ミックスマスター」がその古典的な例で、オゾンの匂いに、うきうきしたくなるクリスマスのパプロバケーキの香りを混ぜたようなもの)

最初の観察は 80 年代

オゾンは、不安定な気体で、微量元素により容易に破壊されます。1920年代に発明されたフロンガスは、冷蔵庫やヘアスプレーなどの代表的な構成要素であり、何十年ものあいだに上空に届いてオゾンに作用し、破壊し続けました。長年にわたりオゾンは大気中で測定されてきましたが、1985年5月に南極上空でオゾン層に巨大な穴(オゾンホール)が開いていることが発見されました。実態は「穴」というより薄くなっているもので、データはフロンガスがその原因であることを示していました。

僅か2年後の1987年には、フロンガスの使用を減少してオゾン層を保護するための「モントリオール議定書」が最終的には国連加盟のほとんどの国により採択されました。全ての加盟国に批准された最初の条約です。オゾン層の復元には時間がかかり、地球のオゾン層が1950年レベルに復元されるのは2080年と推定されました。

世界中の気候学者が温室効果ガスの排出抑制を叫ぶのと同様に過去30年間に行ってきたオゾンホールに関する経験から何を学んだのでしょうか。結局、極めて深刻な問題が存在することに気付いてから僅か2年で、改善するための地球規模の計画が合意されました。

逆効果へのステップ

第1に、1980年代に人々は、癌や白内障の原因になりうる、直ちに市民の健康被害に関わる明確かつ現実問題に直面しました。2019~20年のオーストラリアにおける酷暑によって状

況は変化してきているかもしれませんが、地球の急速な温暖化による真の影響は、直ぐには明白になりませんでした。

第2に、化学メーカーがフロン代替品を、余りコストをかけずに開発することができたため、政府は、経済や人々の暮らしに大きな影響を与えずにこの問題を公表することができたことです。



第3に、政治のご都合主義、企業の力の誤った使い方、誤った情報ならびにインターネットの台頭などにより、過去35年間、科学者への信頼と証拠に基づいた彼らの助言は、減少しました。地球温暖化問題は、政治問題となり、時には、分裂を起こさせるような話題となりました。政府は、科学的な助言を、それが短期的な目標あるいはイデオロギーに合致するときのみ、受け入れるようになり

ました。最近の例を挙げると、新型コロナウイルスの感染拡大の制御についての助言を受け入れたことです。

最後に、代替エネルギー、省エネおよび生活様式の改革などについての様々な解決策は、フロンガスの代替のときにはそうではありませんでしたが、世界各国において経済的、政治的な混乱を引き起こす主たる原因となり得ます。多くの政府は、全ての人々にとって究極的な利益をもたらす長期的な目標達成にむけての大きな変革の採用には後ろ向きです。

Hole in the Ozone Layer?



ワイズメンズクラブ国際協会は、環境問題に対して責任ある組織であり続けることを約束します。私たちは、自らの環境の足跡を軽減する責任を受け入れます。即ち、ワイズ活動における、権利に伴う義務であるからです。ワイズメンズクラブ国際協会の環境政策は、持続可能な方法で活動し、その環境影響を最小限化し、自然環境の維持と復元に務めることです。ワイズメンズクラブ国際協会は、環境への責任を以下を通じて行います。

*温室効果ガスの排出削減

*水の持続可能な使用 — 我々は水の効率利用戦略を採用します。

*土地と資源の持続可能な使用

*地域社会における指導力の発揮と唱道

ワイズメンズクラブ国際協会

オーストラリア、中央ビクトリア地域の YMI と YMCA ほぼ 100 年に亘る地域への奉仕

オーストラリア・ベンディゴ Y サービスクラブ・次期会長ボブ・グリーン

1851 年金鉱の発見により、中央ビクトリアは急激な人口増をもたらし、20 世紀に入って新興のベンディゴ市は、地図上にはっきりとその存在を示しました。その当時の世界で最も深い金鉱によって、また、多くの美しい建物が立ち並んでいることで、ベンディゴ市は、オーストラリアの沿岸から遥かに内陸に入った有名な街となりました。

1907 年、ベンディゴに YMCA が誕生し、最初は市の中心地に近いメインストリートに建物を構えました。それによって市に住む全ての年代の方々・家族の方々に余暇を楽しむ多くの機会をもたらしました。各種のフィットネスプログラム、スポーツ、クラフト教室等々が提供され、そのことの成功によって、間もなく南は、カンガルーフラット、北は、イーグルホークに新しく YMCA ができました。

1920 年代、30 年代までには、YMCA は、バスケットボール、バレーボール、クリケット、運動、スカッシュ、柔道、器械体操等を含めたスポーツ全般のベンディゴでの主たる提供者でした。

YMCA は、独自の各年代を対象とするボーイスカウトも組織し、また、社交ダンス教室やダンス発表会を土曜日の夜に開催し、それらはすべての年代の市民に大変人気がありました。

ワイズメンクラブ国際協会がオーストラリアに

ワイズメンズクラブ国際協会から認証されたクラブがオーストラリアで活動が始まったのは、1926 年 3 月でブリスベンでのクラブ誕生が最初でした。その後メルボルンで 1930 年 5 月、シドニーで 1931 年 11 月にクラブが誕生しました。ベンディゴワイズメンズクラブは、1939 年 9 月 29 日にチャーターされました。同クラブの支援を受けて、YMCA は、1940 年に自前のビルを購入し、それ以降、何十年に亘ってベンディゴでの活動プログラムの中心地となりました。

一方、ワイズメンズクラブ国際協会は、中央ビクトリアま

で広がりました。1939 年 11 月にバララットクラブがチャーターされ、GV Vランセルクラブが 1958 年に、エチュカクラブが 1964 年に、イーグルホーククラブが 1969 年に、そしてカンガルーフラットクラブが 1972 年にそれぞれチャーターされました。

ベンディゴには、ベンディゴ、ランセル、イーグルホーク、カンガルーフラットの各クラブそしてそのすべてがワイズメンズクラブも有しており、世界で最もワイズが集結した地のひとつとなったのでした。

YMCA を通じての「郷土」地域奉仕

1964 年、ベンディゴクラブの支援を得て、「トム・トゥイードスタジアム」と命名された新しいスタジアムが建設されました。1950 年代から 60 年代、70 年代、そして 80 代の熱情溢れる YMCA 総主事に因んで命名されました。

このスタジアムは、長年に亘って、バスケットボール、バレーボール、ジム、土曜日の朝の少年のグループやその他の多くの活動の中心地でした。



毎年行われるイースター・ブックフェアによるファンドレイジング

各ワイズメンズクラブは、どれも大きなファンドレイジング活動を行う積極的なクラブでした。1977/78 年、ベンディゴクラブは、そのメンバーに大勢の小売商人がいましたが、家を作ってそれを販売して 18,580 豪ドルの益金を得ることが出来ました。クリスマスツリー販売を 1954 年に始め、今でも毎年のファンドレイジング行事として継続しています。イースター・ブックフェアも 1970 年代に始まり、いまではクラブの重要なファンドレイジングとなっていて年間約 65,000 豪ドルをもたらしています。

カンガルーフラットクラブは、ペンテージカー交換会を開催し、その折には毎年 30,000 人が町を訪れました。これは、この行事を手伝う多くのワイズの会員がいた間、何年も続きました。イーグルホーククラブは、特製のキッチンカーを購入し、ファンド作りのために、長年に亘って、数多くのイベントで食べ物や飲み物を提供しています。ベンディゴクラブは、スカッシュコート、「B Central」と呼ばれたユースのための活動拠点、これは、やがてベンディゴに教育・研修あるいは仕事のために来る青少年のための「YMCA



1920年頃のベンディゴ YMCA



もう一つの募金活動は、クリスマスツリーの販売を通して行っています。

House」という宿泊施設付きの建物になりましたが、これらを建設するための相当な資金作りと物理的な支援を提供しました。

他のプレイヤーからの挑戦

1970年代以降、広域ベンディゴコミュニティ全体でレクリエーションサービスの提供に大きな変化がゆっくりと生じていました。市議会は、新しいホールやスポーツ施設など、多くの新しい施設に資金を提供しています。また、民間企業は、スポーツチームに資金援助を提供し、スイミングプールの管理や市内の多くの設備の整った新しい体育館の建設をこぞって行なっています。これらの変化は、YMCA が、これらの最近の開発の多くと競合することを可能にするレベルでリソースが潤沢ではないため、YMCA に大きな課題を与えています。YMCA スタジアムは、以前はそこで行われていた多くのアクティビティの優先会場ではなくなりました。スカッシュコートは、より大きな私有施設と競争することができなかつたので、取り壊されました。

新しいアバターと新しい挑戦

数年前、市内の3つのYMCAの理事会は、単一の事業体への統合が、財政的にも、スタッフの効率的な利用にも意味があると決定しました。このようにして、ベンディゴ・リージョナル YMCA が誕生しました。リージョナル YMCA 理事会は、その施設のいくつかを共同事業



1999年のベンディゴワイズメンズクラブ

として運営するための財政的支援を求めて市議会に働きかけました。これにはいくつかの良い結果がありましたが、継続的な資産の維持は、リージョナル YMCA にとって常に財務上の負担でした。そのため、1998年には、YMCA が資金を提供できない深刻な構造の修復が必要なため、市内のメインの YMCA ビルが売却されました。だから、未来へ!。現在「Y サービスクラブ」となっている4つのクラブは、会員の高齢化により会員の減少に直面していますが、ベンディゴクラブは、一生懸命ではなくスマートに働くことによって、依然として主要な募金活動のプロジェクトを何とか運営しています。同クラブは、プロジェクトに関連するきつい肉体労働のために集められた資金から寄付を行ってくれる、他の組織の助けを借りています。それは双方にとって「Win-Win」の状況です。そのため、ベンディゴクラブは、平均年齢は82歳で、会員数はわずか25人ですが、いまだにYMCA および地域社会の他の多くの慈善団体への主要な寄付者であります。



2019年、全国的なYMCA戦略の一環として、ベンディゴ・リージョナル YMCA 理事会が、YMCAの州レベルの機関であるYMCAビクトリアに吸収されました。将来的

2019年9月29日、ベンディゴYサービスクラブは、1939年9月29日のチャーターから80周年を迎え、祝会を開催しました。クラブ会長のコリン・ランビーが、最長の在籍期間を持つ他の3人のメンバー(イアン、ピーター、ケビン)とも50年以上の奉仕活動です。)とケーキを切っているところです。

には、州YMCA理事会のベンディゴ小委員会は、メルボルンに拠点を置く新しい意思決定機関と私達との唯一のリンクになります。

ベンディゴクラブでは、資金が、調達された街を離れるのを見るのは忍びなく、常に地元へ寄付しようと努めてきました。したがって、ベンディゴYMCAへの今後の寄付をベンディゴに確実に残すことは、私たちのクラブにとっての挑戦です。

2019年の終わりごろ、ベンディゴクラブとバララットクラブはどちらもYMIとその地域社会への80年間の献身的な奉仕を祝いました。これらの80年間で、中央ビクトリアのクラブの多くの会員がYMIとYMCAにさまざまなレベルで貢献してきました。その中には、バララットクラブのブルース・プライスとベンディゴクラブのアーサー・カウリングが卓越した国際会長であったことも含まれます。したがって、今、私たちが未来に直面するとき、私たちは私たちの周りの変化する世界に適応する必要があります。

中央南ヨーロッパ – 数々の挑戦

理事 アラン・ウォリントン(ウォーリー)、Y's Men's World 元編集長

1964年以前、全てのヨーロッパ諸国は、1932年にトロイトの国際大会にて設置されたヨーロッパ区に属していました。ヨーロッパの最初のクラブは、1928年にチャーターされたエストニアのタリンでした。第2次世界大戦の影響を受け、ひとつのクラブだけが存続しました。それは、1933年にチャーターされたテッサロニキで1975年まで存続しました。

1945年以降のワイズメンズクラブの発展には、1963年には、より良い運営とリーダーシップのためにヨーロッパ区を細分化する必要があったことでわかります。1964年9月1日3つの区が新設されました。それは、スウェーデン/フィンランド、デンマーク/ノルウェーと中央南ヨーロッパ(CSE)です。

CSEは、区が新設された際に15のクラブを有していました。イタリアのトリノ、ギリシャのアテネ、テッサロニキ、ポルトガルのリスボン、英国のアロア、ベルヒル、エディンバラ、キングスウッド、ノッティンガム、ウェストン、ドイツのブレーメン、エッセン、ハンブルグ、オランダのアムステルダム、ロッテルダムです。CSE区初の国際理事(当時はそう呼ばれていましたが)は、オランダのジャン・デ・ジョングでした。

彼は1964年にハンブルグにて開催された最初の区大会を主宰しました。区大会は毎年開催され、毎年別のクラブが主催しました。小さな区であり、限られた参加者ですので、しばしば自宅でもてなしを行っています。この様なもてなしは、長年にわたり友好関係の強化に繋がります。1966年、キングスウッドクラブは区大会をホストし、参加者は、YMCAの敷地内にキャンプしました。国際書記長ジェラルド・L・ヘイルが出席して祝ってくれ、素晴らしいスピーチも行いました。もうひとつ印象に残る大会は、国際書記長ローランド・ダumasと地域会長フィン・パダーセンが出席した2006年スイスのヴォマルキュにて開催されたものです。

CSE – 地域大会とプロジェクト

CSEは4つの地域大会をホスト致しました。1981年、300名の参加で、ブリストル大学で開催された大会。1991年には、ブリストルのホリデーイン

で280名が参加し、ブリストル大聖堂での素晴らしい礼拝の後に素敵な週末を過ごし、市内観光ツアーも行いました。2001年にはキングウッドとハンハムのクラブがブリストル大学ユニオンカンファレンスセンターにて再び地域大会を開催しました。当時の政治的、経済的困難により、参加



2001年地域大会開会式

者は140名に減りましたが、イベントは滞りなく進み、予算内で実施できました。2013年、再度地域大会を要請されました。その際は、バース大学を会場に選びました。180名の参加者全員が大学の宿泊施設に滞在する事が出来、便利で愉快な大会になりました。バースは主要な観光地であり、参加者にはそこで時を過ごす事が出来ました。

区ではクラブが寄付するプロジェクトが毎年行われています。それは区大会にて選ばれ、最近では、テッサロニキYMCAが行った素晴らしい難民への働きへの支援が含まれます。このようなコラボレーションの成果の一つが、2020年にテッサロニキに新しいクラブが設立される事



テッサロニキクラブの加盟認証状



1981年地域大会



2020年ヴォマルキュにて、国際書記長ローランド・ダルマス



右上 1991年度地域大会のロゴ



2013年地域大会にてロシアからの皆さん



国際書記長ジョース・ヴァルギースと理事が難民を訪問

です。中央南ヨーロッパは、小さな区ですが、長年にわたり国際のリーダーを輩出しています。クラウス・ディーツェルは2004年から2010年まで国際会計を務め、4名のCSEのメンバーが国際議員を務めました。クラウス・ディー

ツェルが1978/81;ノーマン・カリモアが1990/93アラン・ウォリントンが2006/09;エルフィー・ミュージルが2009/12。



クラウス・ディーツェル



エルフィー・ミュージル



ノーマン・カリモア

アメリカ合衆国:国際会長の太平洋南西区への旋風ツアー



左:パレードの山車の一つ、右は、IP ジェニファーが、主催者招待客として高い壇からパレードを見学

長い伝統を尊重して、IP(国際会長)ジェニファー・ジョーンズは、2020年始めの1週間をアメリカの太平洋南西区で、有名なパサデナのローズパレードの見学、パサデナライオンズクラブ主催の昼食会、区の各ワイズメンズクラブの訪問をして過ごしました。

1月3日に、1928年にチャーターされたパサデナワイズメンズクラブが主催した晩餐会は、この区にとって長年に亘る伝統になっています。その夜のハイライトは、IPジェニ

ファー・ジョーンズによる感激的なスピーチでした。我々にとって、ジェニファーと夫君ラッセル、そしてPIP(元国際会長)クラー・グラハムと夫人ナンシーの出席を得たのは荣誉なことでした。それは、食事、音楽そして親睦の素晴らしい夜でしたこの晩餐会がIPの南カリフォルニアへの旋風ツアーを締めくくるものでした。

アメリカ太平洋南西区 PRD ティム・シングルタリー

YMI 広報

ワイズメンズクラブ国際協会 コミュニティーサービス

コミュニティに還元し、それを強化することはワイズメンズクラブ国際協会のクラブの主要な目的です。

継続的で良心的なボランティア活動と的を絞った献金活動によって、私たちは、建設的で持続的な違いを作るように専念していますが、それは単にローカルなレベルだけではなく、世界全体でのことです。

貴方は違いを作っていますか?

「新たな賞」

2019 国際議会で承認

コミュニティサービスにおける卓越した業績に対する年度表彰



ロサンゼルスで、国際ライオンズクラブ協会・ドゥアーテクラブ・チョイ会長と



IP がクロビス・フレズノクラブメンバーと共に。RDE ダンエバーリーは前席左端。

表彰の詳細

各クラブ、部、区、あるいは地域として応募する。1つのクラブに対するベストCS賞1件および複数クラブのグループによるベストCS賞1件。国際執行役員によって決定し、国際議会(ICM)で発表

応募締め切り: 6月15日
すべての人類のために、より良い世界を築くために共に働く

韓国:ラオスにおける YMI 医師団による海外医療サービス



ラオス派遣の 2020 韓国医療チーム



サヤブリーでの集会におけるキム・サン・チェ医師の挨拶

1月の韓国旧正月休みの期間中に、AP(地域会長)キム・サン・チェを団長として韓国 YMI 医療団によるラオスにおける3日間の海外医療サービスが実施されました。この医療団は、キム・ヘルパーズハイ・ワイズメンズクラブのメンバーで、キュンヒー・ジュンガン総合病院のスタッフから構成され、この18名のボランティアからなるチームには、2名の整形外科医、1名の消化器専門医、1名の心臓専門医、3名の一般外科医と数名の看護師とボランティアがいました。さらに、在ラオス韓国国際協力機構(KICA)とラオス国立大学からの8名のボランティアによる、現地ラオスの医師と患者とのための通訳支援を受けました。2019年にも、サヤブリーに海外医療サービスのために行き、その後 AP キム・サン・チェが、彼の病院とサヤブリーの病院の間での覚書に調印したのです。その覚書のお陰で、その後の現地サービスキャンプで使用する韓国からの薬品、医

療機器に対する通関検査が以前より一層容易になりました。3日間のキャンプでは、約1,500人の患者に対応し、9件の重症者、15件の軽症者の手術を実施しました。最終日には、サヤブリー病院は、各ボランティアにそれぞれ、感謝の額、スカーフ、もち米と黒米を提供しました。私たちも韓国から準備してきた手術用具と薬品を寄付しました。

私たちは、モンゴルとラオスにおけるボランティア活動を強化するために、これらの国での医療サービスの質の向上を図る目的で、両国の医療従事者に対するさらなる研修を韓国において実施するべく、彼らを招待する予定です。現在、何人かのモンゴルの医療従事者がキュンヒー総合病院で研修を受けています。間もなくラオスからの医者たちも彼らに合流する予定です。

韓国地域事務所

韓国:COVID-19の拡散阻止のために、デグ市に対して8,000枚のマスクを寄贈



最初の3,000枚のマスクの提供の発表



キム・サン・チェがマスクの配布を監督する

新型コロナウイルス(COVID-19)の災いを封じ込めるための早期の対応として、韓国地域は、APキム・サン・チェを筆頭に、韓国テグ・ギェオンブク区 RD パーク・ジョン・アン、ASD ジュン・スン・ギュ他の有能な助力を得て、当初の3,000枚のマスクを配布するためにテグ市を訪問しました。その後、約3週間後の3月に、追加の贈りものとして5,000枚のマスクも提供されました。

テグの住民たちは、韓国においても最大の被害を受けました。2月末の時点では、韓国でのCOVID-19陽性者総数2,022人の内、1,314人(約65パーセント)がこの地域からでした。

マスクは、テグ市の市役所福祉部を通じて、テグ市民および恵まれない人々に手渡される予定になっています。

韓国地域事務所

香港のワイズメンズクラブと YMCA が手を組んで新型コロナウイルスと闘う



品物を配る準備を終えたワイズメン

最も重要な品々を入手するのが難しい時期に、香港のワイズメンは、香港中華 YMCA と緊密に協力して、フェイスマスクと手指の消毒剤を調達するため、寄付を募り、経済的に購入出来ない人に配布しました。

2月下旬、ニューテリトリーズクラブは、1,000枚を超えるフェイスマスクと手指の消毒剤を集め、2つの YMCA 高齢者センターに寄付しました。

3月上旬、ペニンシュラクラブは 2,500枚を超えるフェイスマスクを障がい者のための YMCA シェルターセンターに送りました。

ノースウエストクラブと YMCA のボランティアは、ティン・



香港の YMCA 施設で

シュイワイの貧困地域に住む少数民族グループを訪問し、適切な予防策を説明したリーフレットを添えた 500 パックを超える消毒剤を配布しました。

ジョアン・ウォン 香港部部长

韓国:新型コロナウイルス感染症を抑える「愛のマスク」



病院の前でマスクとチラシを配布するワイズメン

新型コロナウイルスの蔓延は、韓国のいくつかのワイズメンズクラブを活動に駆り立てました。キム・ジュンガンクラブとキム・セブンクラブのメンバーは、恐ろしいウイルスの蔓延を阻止するために計画された一連の長期活動の手始めに、2月22日に「愛のマスク」を配布しました。

彼らは、慶熙中央病院、キム三星病院、JW ウェディングセンターの3ヶ所で市民に 600 万ウォン(約 4,900 米ド



キム・ジュンガンクラブとキム・セブンクラブのメンバー

ル) 相当のマスクを配布しました。彼らはまた、必要に応じて頻繁に手の消毒をするよう市民に勧めるキャンペーンを実行しました。

配布されたマスクには、ワイズメンのエンブレムとロゴが付いていたため、広報活動にも役立ちました。

韓国地域事務所

インド:連鎖を断ち切ることで新型コロナウイルス感染症の急増を抑制する

「連鎖を断ち切る」は、新型コロナウイルス感染症の拡散を阻止するためにケララ州政府によって開始されたキャンペーンです。国民に自己規律を要求し、多数との接触を避け、自分自身を隔離すると同時に、頻繁に手を洗って衛生的にする習慣およびくしゃみや咳をするときには、良識あるエチケットに従うことを教え説いています。インド地域のいくつかのワイズメンズクラブは、消毒液とマスクの配布、手洗い設備の設置、啓発資料の配布を通じてこのキャンペーンに参加しました。



左から右へ:キャンペーンの公式ロゴ / ケララ州・チャラジャ保健相が、ボサニカドクラブ(中西インド区)が運営する施設の生徒に消毒液を提供 / チェムペリタウンクラブ(西インド区)によって道路に建てられた手洗い施設



アラトゥプザクラブ(南西インド区) / ムヴァトゥプジャクラブ(中央西インド区) / オダッカリクラブ(中央西インド区)によって設置された手洗い施設

韓国:衛生意識向上のために市場で手を差し伸べる

キメ・キュアクラブは、キム・サン・チェ韓国地域会長の、新型コロナウイルス感染症撲滅のための消毒活動へのボランティア参加への呼びかけに応え、毎週末午前10時から午後10時まで東上洞市場でプロモーションブースを運営しています。これは、コロナウイルス感染の脅威が治まるまで続きます。

この伝統的な市場は、毎週末ごとに多くの市民や外国人で賑わいます。キュアクラブは看護師で構成されているため、症状のある市民のために、初期カウンセリングと健康教育が提供しています。

市場を訪れる者には体温チェックがなされ、使い捨てマスク(1人につき1つ)が、英語と中国語の新型コロナウイルス感染症資料と共に配布されます。手の消毒の推進も実施しています。

このキャンペーンは、韓国で確認された症例数が増え続けるに伴って、ウイルスの蔓延を減らすため、適切な衛生の大切さについて人々に教育することを重点に置いています。

クラブ会長 クォン・ヨン・チェ



キメ・キュアクラブのメンバー



賑やかな東上洞市場の客に呼びかけている所

インド:バンガロール区がガン患者介護プロジェクト開始

インド・バンガロールII部では、ジョニー・ジョン部長が中心となって、1,000万インドルピー（13万米ドル相当）の投資でディーナ・セバ信託基金が運営するサンスワーナ・ホスピスに末期患者ケア病棟設立の支援をする大掛かりな計画を始めました。第1段階の資金拠出運動は、今年1月にスタート

し、500万ルピーを集めるのに成功。この金額の一部は、信託基金に移され、現在末期患者ケア治療を受けている12人の医療に用いられ、さらに、この地域の最貧困層60人近くの世話をする新しい施設の建設に充てられます。

バンガロールII部 部書記 M.セバスチャン



1月: ディーナ・セバ信託基金に300万インドルピーの小切手を手渡す。

3月:直前地域会長のK. C. サミュエルが新ビルの礎石を据える。

日本:Change! 2022 – EMC プロジェクト

東日本区では昨年、国際協会のChallenge22プロジェクトに呼応してChange!2022プロジェクトを開始しました。

1997年に日本区が東日本区と西日本区のふたつの区に分かれたときの東日本区の会員数は、1,246名でした。このプロジェクトの目標は、現在の会員数875名を当時の会員数まで増やすことです。

2020年2月1日にChange!2022シンポジウムが開催され、100名を超えるワイズメンが集まり、EMCについての好事例を共有しました。

各クラブは、地域社会でより知られた組織になるために



Change!2022 シンポジウム進行中

フェイスブックの活用を推奨され、意識向上とクラブへの情報提供のために毎月ニュースレターが発行されています。

東日本区理事 山田敏明

カリブ海区:ユースが責任ある市民となるために



清掃活動、準備完了

カリブ海区のワイズメンは、今年2月に地元のジャマイカ環境信託基金の「Nuh Dutty Up ジャマイカ運動」と連携

して、マンデヴィルでの地域清掃活動を行いました。

ワイズのリーダーたちは、地元の若者が彼らの住む地域活動に関わり持つことによって、彼らがその地域の活発な参加者となり、社会全体に、長続きする前向きな影響を与えていると誇っています。

若者たちは、今回の地域清掃活動で250ものプラスチックボトル、菓子の包み紙、発泡スチロールの入れ物などの多くのゴミを収集し、その量は1ダース以上のゴミ袋に一杯になりました。

この区の若者を律するスローガンは、次のようなものです。「あなたの住む地域を尊重し、守り、清潔にしよう、あなたは環境の変化に責任がある」。

カナダ/カリブ海地域 地域事業主任 ドウワイト・トムリンソン

台湾とフィリピンでワイズメンと会う 直前地域会計アントニー・ジョセフ

2019年12月、私たちは家族で休暇を取り、台北の「極東グループ」で働いている息子とクリスマスをお祝いするために台湾へ行きました。それからフィリピン中央部の小さな島であるボラカイを訪れて新年を祝いました。

台北にいる間、台湾とフィリピンのワイズメンのリーダーたちと連絡を取りました。次期台湾区理事であるケビン・スーおよび台北セントラルワイズメンズクラブの会長であるマーク・リンは、台北で私と妻のシャニーと会うために時間を割いてくれました。ケビンは、約300キロ離れた彼の拠点である台南から、私たちと知り合って、インドのワイズメン運動についてもっと知るために会いに来てくれました。彼らは、夕食に私たちを有名な台湾のレストランに連れて行ってくれました。私たちは、彼らとの出会いを本当に楽しみ、温かい歓迎もてなしに感謝しました。

台湾は、正式には中華民国であり、中国本土から約150 kmの南シナ海にある小さな島です。台湾のライフスタイルは日本と韓国の影響を強く受けています。台湾は、また、世界でも有数の最高の料理で知られています。見どころには、蒋介石記念堂(国立故宮博物院として知られています)、101階建ての高層ビルの台北101、十分瀑布、九份山町など沢山あります。



フレンドシップディナー:台北でケビン・スーとマーク・リンの招待を受けた筆者とその妻



台北セントラルワイズメンズクラブの会長、マーク・リンと筆者



アンジェリート・プア区理事、ポール・リム前区理事、ジョージ・リオビング部長とマニラにて

不安なひととき

12月28日のボラカイへの旅行の前に、私たちは対処すべき大きな課題を抱えていました。台風11号(ファンフォン)がクリスマスの2日前にフィリピンを襲い、国のさまざまな地域に被害を与えました。ボラカイは、ひどい打撃を受けました。島は、観光客に対して2日間閉鎖され、島への電気と電話の接続は、完全に遮断されました。私は、フィリピン区元理事のポール・リムと定期的に連絡を取り合っていて、RAHA リソースグループから1時間ごとの最新情報を入手してくれました。彼は、ボラカイが私たちの訪問の時までに観光客受け入れの準備ができていないことを確認してくれました。私たちは、旅行を続けることにしました。すべて順調でしたが、1月2日に島を出るまで電気と携帯電話の接続はありませんでした。すべてのリゾートは、ディーゼル発電機を使用して機能していました。それは携帯電話とソーシャルメディアの妨害のない平和な休日でした。



サントーマス大学で

アントニー・ジョセフは、インド地域の直前会計でバンガロールワイズメンズクラブのメンバー。アントニーのメールアドレスは、tranzell@gmail.com です。

親善訪問



ジョン・テンと RAHA ボランティアと



食事に出かける

ワイズメンとのツアー

ポール・リム元区理事、アンジェリートプア区理事、ジョージ・リオビング部長と、ボラカイから帰る途中に滞在していたマニラ YMCA で会いました。彼らの温かいもてなしを忘れることができません。彼らは、私たち 2 人を 1 日かけてマニラ市内のツアーに連れて行き、有名なイントラムロス、アジアで最も古い大学であるサント・トマス大学 (UST) を訪れました。ポールとアンジェリートは、二人とも UST の同窓生です。

また、RAHA ボランティア施設も訪問し、そこでジョン・テンに会いました。彼の家族は、RAHA (Romanal Alliance for Humanitarian Action) の運営のために建物と車両を提供しています。家族全員が RAHA フィリピンワイズメンズクラブのメンバーです。アンジェリート区理

事が翌日、私たちが帰国便に乗るため空港まで車で送ってくれました。

休暇の後、1月8日に無事バンガロールに帰って来ました。災害が再びフィリピンを襲いました。タアル火山が1月12日噴火して、深刻な被害を引き起こし、数千人が自宅を離れマニラの市街地への避難を余儀なくされました。救急サービス、店舗、レストランやマニラ空港は、数日間閉鎖されました。自宅に戻って安全な私たちは、フィリピンで出会った新しい友人が安全で救済復興活動に参加していると知って嬉しく思いました。

結び:私の息子による観察でこの文章を終えたいと思います。「文化的で冒険的なスタートを切り、途中で台風をかわし、最後に火山の噴火を免れてめでたし、めでたし。そして、旅行の先々で良い友達を作りました。」



マニラ・マカティ YMCA

YMI 報告

ワイズダム運動の遺産の一部になりましょう。2022 年とそれ以降のために、私たちの組織を発展させ強くすることに協力してください。

完了したプロジェクト (2019 年 11 月)

- ・これまで知られることのなかった創設者の墓に墓石を設置
- ・彼に敬意を表して公園の名前を変更

継続プロジェクト (調査と資金作り)

- ・ポール・ウィリアム・アレキサンダーの名で新しい国際プロジェクトを創設
- ・重要な歴史的文書のデジタル化とオンライン収納・検索
- ・ジュネーブに国際本部事務所の購入

100 米ドルかそれ以上の寄付をして、特別な 100 周年記念ピンバッジを受け取りましょう。さあ寄附をしましょう

私にあなたの事情を聞かせてください

移民は、アメリカ社会の大きな問題です。議論を呼んでいる非常に多くの重要問題と同様に一方に偏った意見、非難、判断ばかりで、どうやら対話が不足しているようです。それは、国外追放の危機に直面している当事者だけでなく、私たち全員にとって不幸な事です。公正な解決策を見出すために、有りとあらゆる考え方を傾聴する必要があります。特に重要なのは、移民の人たちの話に耳を傾けることです。なぜなら彼らの一人一人に傾聴すべきそれなりの重要な事情があるからです。

アメリカの移民政策は、遙か離れた当地カンボジアにも影響を及ぼしています。1970年代後半にクメールルージュ政権が崩壊した時、アメリカは、多くのカンボジア難民をアメリカに再定住させ始めました。当初、彼らは、全米各州に散らばりましたが、最終的に多くの難民は、カンボジアの気候に似ていて、より多くのクメール族の人たちが住んでいた地域に移住しました。私たちの多くと同様にカンボジアの人たちは、地域社会の中で暮らす事を好み、同じ国民の中で生活するのが最善であると悟ったのです。

クメールルージュ政権下と難民キャンプでの困難な生活を生き抜いてアメリカに再定住したクメール族の人たちは、自分たちの新しい生活も極めて困難である事に気づいたのです。多くの難民の人たちは、戦争とクメールルージュ政権の深刻なトラウマに苦しんでいたのですが、しばしば必要な支援を得る事はできませんでした。幼い子共たちも例外ではなかったのです。家族は、未だにクメールルージュ政権下の残虐行為のトラウマに苦しんでいただけでなく十分な収入のある仕事に就けなかったため、対処すべき多くの精神的問題を抱えていました。そのような問題が子供たちにも受け継がれてしまったのです。彼らは、低所得地域で育ち、その地域の若者文化に影響を受けました。

同時に再定住した家族は、多くの場合、市民権を得る為に必要な手続きについて知らされていなかったのです。多くの子共たちは、身分証明書を持たないまま成長しました。この事は、薬物所有の罪に問われたり、無謀運転、路上での喧嘩などに関

わったりするまでは、問題化しませんでした。一定期間の禁固刑の判決を受け、刑期を終えて釈放されても、しばしば再逮捕され、市民権の有無を示す適切な証明書を所持していないので、カンボジアに強制送還されました。身分証明書は、最初に再定住した地域の当局が発行しておくべきだったのです。

強制送還されたこれらの若者は、自分たちが話せない可能性のある言語が使われているカンボジアというほとんど知らない国に突然投げ入れられる事になるのです。場合によっては、出生地がどこにあるのか、カンボジアに生きている親戚がいる

最もはなはだしい不正義の一つは、これらの若者たちとその家族には、アメリカ政府によって再定住させられたにもかかわらず、新しい住居と安定した生活の場を見つける為の適切な配慮がなされなかった事です。

のか、いないのかさえ彼らには、見当がつかないのです。何人かは、深刻な精神的問題を抱えてカンボジアに戻ってくるので、新しい生活に適応する為に必要な支援を得ることができないのです。

RISC(帰国者融合支援センター)という地方自治体組織が、新しい生活に適応するのに四苦八苦している若者たちに貴重なサービスを提供しています。全ての若

者が新しい生活に適応できる訳ではありません。残念ですが自死も頻発しています。RISCは、活動資金が限られているのでカウンセリング・サービスを提供したり、就職の手助けをしたり、景気が悪化した場合に、単に時間をつぶすだけの場所を提供しています。

このような状況は、多くの不正義を反映しています。その中でも最もはなはだしい不正義のひとつは、これらの若者たちとその家族には、アメリカ政府によって再定住させられたにもかかわらず、新しい住居と安定した生活の場を見つける為の適切な配慮がなされなかったことです。張本人であるアメリカ政府が今度は、法律を犯した事を理由に若者を国外追放して、家族や妻や子共たちや生まれ育ったアメリカ生活からかけ離れた、新しい状況の中に投げ入れているのです。

キリスト者として私たちは、ホームレスの人たち、飢えに苦しむ人たち、狼狽している人たちのことを気遣うよう求められています。イエスは、私たちの周りの最も弱者たちの為にすることは、イエス自身にすることだと述べられました。このような考えが移住に関する対話する際に取り入れられなくてはなりません。移民の人たちに関するいかなる判断を下す前に、愛と思いやりを持って彼らの事情に耳を傾ける事が私たちに求められています。

移民の人たちを思い込みで判断したり、非難したりする前に自らに問いかけてみましょう。「私にあなたの事情を聞かせてもらえますか?」そうすれば、私たちは、ひょっとすると「気づかずに天使たちをもてなしたこと」(ヘブライ人への手紙第13章1-2節)に気づくかもしれません。

マックス エディガーは、カンボジアで設立された「平和の学校」の運営責任者です。www.mennolink.org/peace
アメリカ合衆国メノナイト教会平和・正義支援ネットワーク・ネット出版、ピースサインズの許可を得て転載。



Y'S MEN INTERNATIONAL

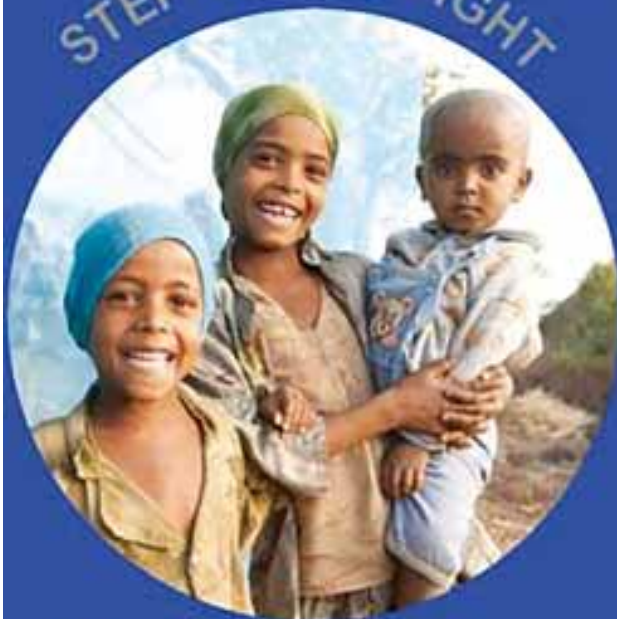


ROLL BACK MALARIA (RBM)

ロールバックマラリア(RBM)

闘いを強化しよう

STEP UP THE FIGHT



目標総額: 50万米ドル
DFID (英国国際開発省) により倍額が
寄付される

2020年度の目標: 10万米ドル
Global Fund (世界エイズ・結核および
マラリアと闘うためのグローバル基金)
に寄付される

今日寄付をしよう!
<https://www.ysmen.org/donate/>

改定された取り組み

マラリアを根絶する地球規模の闘いが 2010 年に始まって以来、ロールバックマラリアパートナーシップによって 70 万米ドル以上の寄付金が既に集まりました。ワイズメンズクラブ国際協会は、世界 YMCA 同盟、グローバルファンドおよび私たちが集める寄付金 1 米ドルごとに 2 米ドルを寄付する事が合意された DFID (英国政府の国際開発担当省) という革新的かつ新しく複数の、利害を共有する組織との協働関係の新たな時代に足を踏み入れました。

新しい戦略

ワイズメンズクラブ国際協会は、ユース主導による地域社会との関わりと唱道、そして政府の RBM パートナーとともに、各地の YMCA、ワイズメンズクラブの支援のもと、グローバルファンドの戦略的な草の根教育を推し進めることに専念しています。

2030 年までにマラリアのない世界を実現

地球規模の努力によって既にマラリア関連の死亡者数を激減 (この 10 年間でほぼ 50% 減少) させましたが、更なる前進は滞っています。これまで以上に努力を傾け、私たちの取り組みを再確認する時が来ています。手に手を取り合って 2030 年までにマラリアのない世界を実現しましょう。

